

芳賀赤十字病院だより

11
Number

発行責任者／岡田 真樹 編集／芳賀赤十字病院 広報編集事務局 社会課 栃木県真岡市台町2461

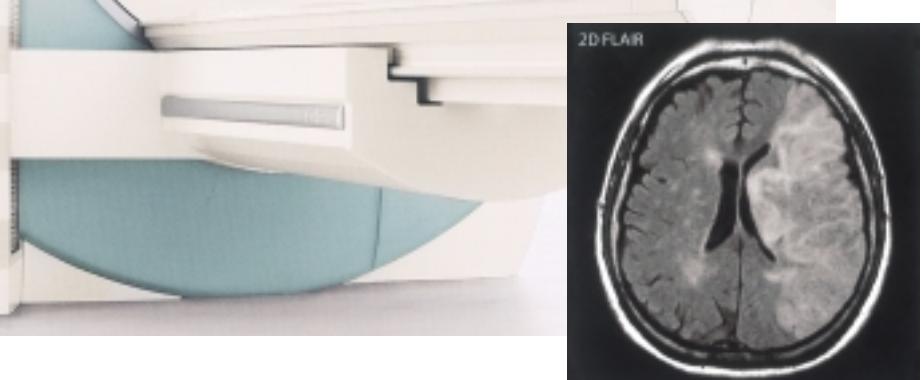
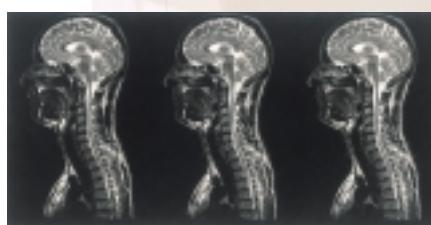
超電導MRI装置導入のお知らせ

平成22年2月に導入された新MRI装置は、ドイツ/シーメンス社製(MAGNETOM Avanto)で世界初となる全方向からの全身撮像が可能で、高性能、高速でしかも高精細な画像診断が可能となりました。

主な特徴

- 優れた環境性！～検査が楽に受けられる
- 高精細な画質！～微小病変がより見やすい
- 短い検査時間！～お年寄りの方でも安心
- 被爆の心配も無用！～安心して検査ができます

※MRI検査とは、磁場を利用して体内の様子を画像化するもので、解剖学的、質的診断にきわめて有効な検査です。



ごあいさつ

院長 岡田 真樹



当院が医師不足の波にのまれ、自治医大等関係機関の御支援により新しい体制となって4年が過ぎました。この間、医師数は着実に増え、MRIなどの医療機器も最新のものに更新し、病院の機能は以前にも増して向上しています。外部評価である病院機能評価も優秀な成績で認定され、また昨年には救急功労者総務大臣表彰を受賞しました。この4月からはDPCを導入し、芳賀地域の中核病院（急性期病院）としてさらなる飛躍を目指していきますので、今後とも皆様の御理解と御支援をお願い申し上げます。

新年度に向けて

副院長 稲沢 正士



4月になり桜が咲き誇り少しは医療界にも変化が見えだしたところでしょうか。今年は将来の病院新築に向け経済的にも舵が切れるかどうかが最大の課題です。成功の鍵は今の医療事情を地域の方々にも理解いただき地域完結型医療に当院としての役割を適切に果たしていくことです。地域の医療機関、福祉衛生教育機関、地域の皆さんとともに手を連携え芳賀地区医療崩壊を食い止め地域の安寧に寄与するよう努力していきましょう。

芳賀赤十字病院の飛躍を！ 事務部長 小島 直樹



この4月芳賀赤十字病院勤務になりました小島と申します。地元勤務は社会人となって始めてのことでの通勤時間も含め生活環境も大きく変化するのかなと、少し不安も抱いるところです。さて、芳賀赤十字病院と言えば、昭和24年に開設されて以来、60有余年に亘り、公的な総合病院として、地域の皆さんに愛され、信頼されて来ていると聞いています。一方、施設設備については、南館等の増築はあったものの、西館・北館・中央館等は老朽化が著しく、多くの医療設備についても更新時期が来ており、更には医療スタッフの安定的な確保や人材の育成、そして経営面での改善など、多くの課題を抱えているのが現状であると思っています。今後とも芳賀赤十字病院が地域医療に貢献して行けるよう医療・保健・福祉等の関係機関等との連携も深め、更には地域の皆さんのご理解、ご協力を得ながら2次医療機関としての役割もはたして行けるよう精一杯努力して参ります。

ごあいさつ

看護部長 久保 智子



医師不足、看護師不足が叫ばれる中、平成22年4月には改正保健師助産師看護師法、人材確保法の施行により『新人看護職員研修事業』が新規にスタートしました。医療看護においては特に安心安全が求められております。芳賀日赤では10年以上前から看護師の現任教育にキャリア開発ラダー（習熟度別の教育）をとりいれ人材育成をしてきましたが、これを機に一層看護師の教育に力を入れ、質の高い看護を提供できるよう邁進していきます。芳賀医療圏に生活する1市民でもあり、地域の皆様とともにあり続ける芳賀日赤でありたいと願っています。22年度もどうぞよろしくお願ひいたします。

チームワークが抜群の整形外科病棟です

南館5階は52床の整形外科病棟です。手術目的による入院と、外傷・事故などによる緊急入院が多くをしめています。手術からリハビリ期における患者の回復と自立に向けて病診連携やOT・PTなどコメディカルとのチーム医療を展開しています。

看護師は明るく元気で体力に自信のある看護師がそろっています。忘れてはならないのが東部長をリーダーとした病棟のチームワークです。



作業療法士と看護師が連携して
リハビリをしています。



医師と看護師の回診中です。



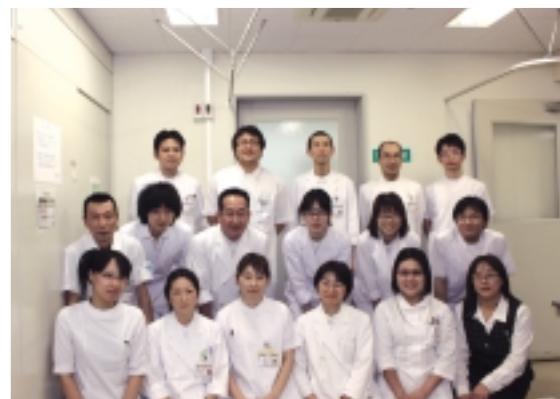
南館5階病棟スタッフ その1



南館5階病棟スタッフ その2

チーム医療の一員として医療に貢献する! 臨床検査技師!!

病気は迅速な容態の把握と適切な処置が大切です。そこで、病気の早期発見、薬物の適正な投与、治療効果の判定などに必要な情報を医師に提供するのが、我々臨床検査技師です。当院検査部では、正確な検査データを少しでも早く報告できるよう、診療前迅速検査の充実に努めています。業務内容は、外来採血や血液・尿・細菌・病理・超音波・心電図・脳波検査など多岐に亘り、夜間・休日も含め24時間体制で対応しています。



スタッフ



生化学検査
肝機能や腎機能、血糖値、コレステロールなどを測定します。



24時間自由行動下血圧(ABPM)
24時間血圧を測定する器械です。
夜中や朝方の血圧を知ることができます。



血液型分析装置
血液型を検査しているところです。

採血室の
風景



病理検査
内視鏡や手術などで採取された組織や細胞が
良性か悪性かどうか検査します。



細菌検査
症状を起こしている病原菌を特定し、
有効な抗生物質を調べます。



輸血検査 交差適合(クロスマッチ)試験
輸血する血液が患者さまに適合するか調べます。
安全な輸血を行うための重要な検査です。

ハイチ大地震 救援等要請 (ERU) 会沢紀子看護師 派遣壮行会

今年1月に大地震が発生したハイチに、会沢紀子看護師が派遣され、平成22年4月20日出発し、約1ヶ月間医療活動に従事します。



地域医療連携室だより

こんにちは、地域医療連携室です。前回は、登録医の先生方についてお知らせいたしました。病院の入り口を入ったところに掲示してある登録医一覧をご覧いただけましたか？当院は、地域の登録医の先生方と地域医療の役割を分担して2次医療の提供に努めています。その一環として、紹介状をお持ちの患者さまの予約制を進め、外来での待ち時間を最小限にできるよう努めます。紹介状をお持ちの患者さまは、かかりつけの先生を通して事前にご予約をいただけますので、紹介状持参で受診の際は、かかりつけの先生に相談してください。

初診の際に紹介状をお持ちでない患者さまは、選定療養費として2,625円をいただいているので、ご了承いただけますようお願いいたします。

地域医療連携室は、病院の入り口から右側に進んだ並びにあります。登録医の先生方のご案内や、医療・福祉の相談、介護保険の主治医意見書の手続きなどを行っております。どうぞお気軽にお寄り下さい。

※相談は、予約をいただく場合もありますので、一度お問い合わせください。

☆平成22年度より地域医療連携課から室へと変更し、今まで以上に連携を強化できるよう努めます。今後も、よろしくお願ひいたします。



平成十四年、芳賀町総合防災訓練。六百五十食の非常食の炊き出し。
平成十七年、芳賀町で、六十五歳以上のお年寄りが三千八百名を超えた為、誰もが避けては通れない老い、又、いつあるか分からない介護

人や緊急事態が起きた時に、救急車が到着する迄の間に、正しい処置等の救急法等の講習会開催。
芳賀町は、昭和六十三年日赤奉仕団結成。平成五年、新規団員を増やそうと、再募集、九十六名の賛同を得て再結成。

これからも、人の輪
心の和を大切に、健康
で豊かな心で繋ぐ、温
かい、幸せな活動を続
けて参りたく存じます。
※芳賀日赤への奉仕
毎月第一金曜日です



芳賀町赤十字奉仕団
委員長 菅原 キン

私たちも、赤十字の
サポートです。

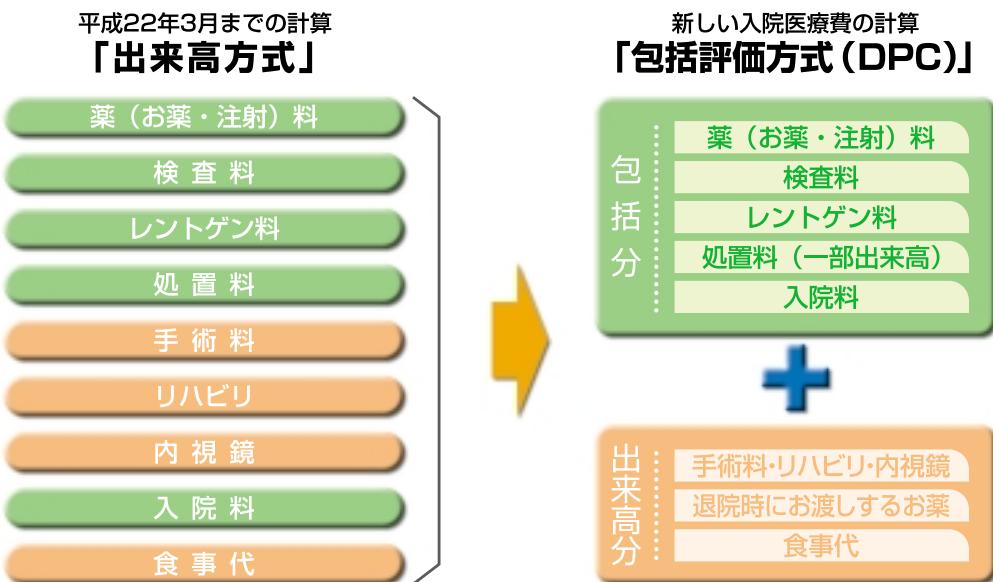
平成22年4月1日から入院医療費の計算方法が 【診断群分類包括評価方式（DPC）】に変わりました

診断群分類包括評価方式（DPC）について

当院は、平成22年4月から厚生労働省が推進している「診断群分類包括評価方式（DPC）」による入院医療費の計算方法を導入しました。

これまでの入院医療費の計算方法は、お薬・注射・処置・検査・レントゲンなど出来高による計算方法でしたが、新しい計算方法は、患者さんの病気の種類と診療内容にあらかじめ決められた1日当たりの定額分と出来高による部分をもとに入院費を計算する「診断群分類包括評価方式（DPC）」に変わりました。

診断群分類包括評価方式（DPC）における医療費の内訳について



患者さんへの請求は、「包括評価方式（DPC）」…包括分+出来高分
(室料差額等は別途請求になります)

診断群分類包括評価方式（DPC）の対象とならない患者さんについて

正常分娩・労災・自賠責・歯科・外来医療費などは今までと同じ計算になります。



日本赤十字社

芳賀赤十字病院